

ざっくりわかる

TOC

Theory

Of

Change

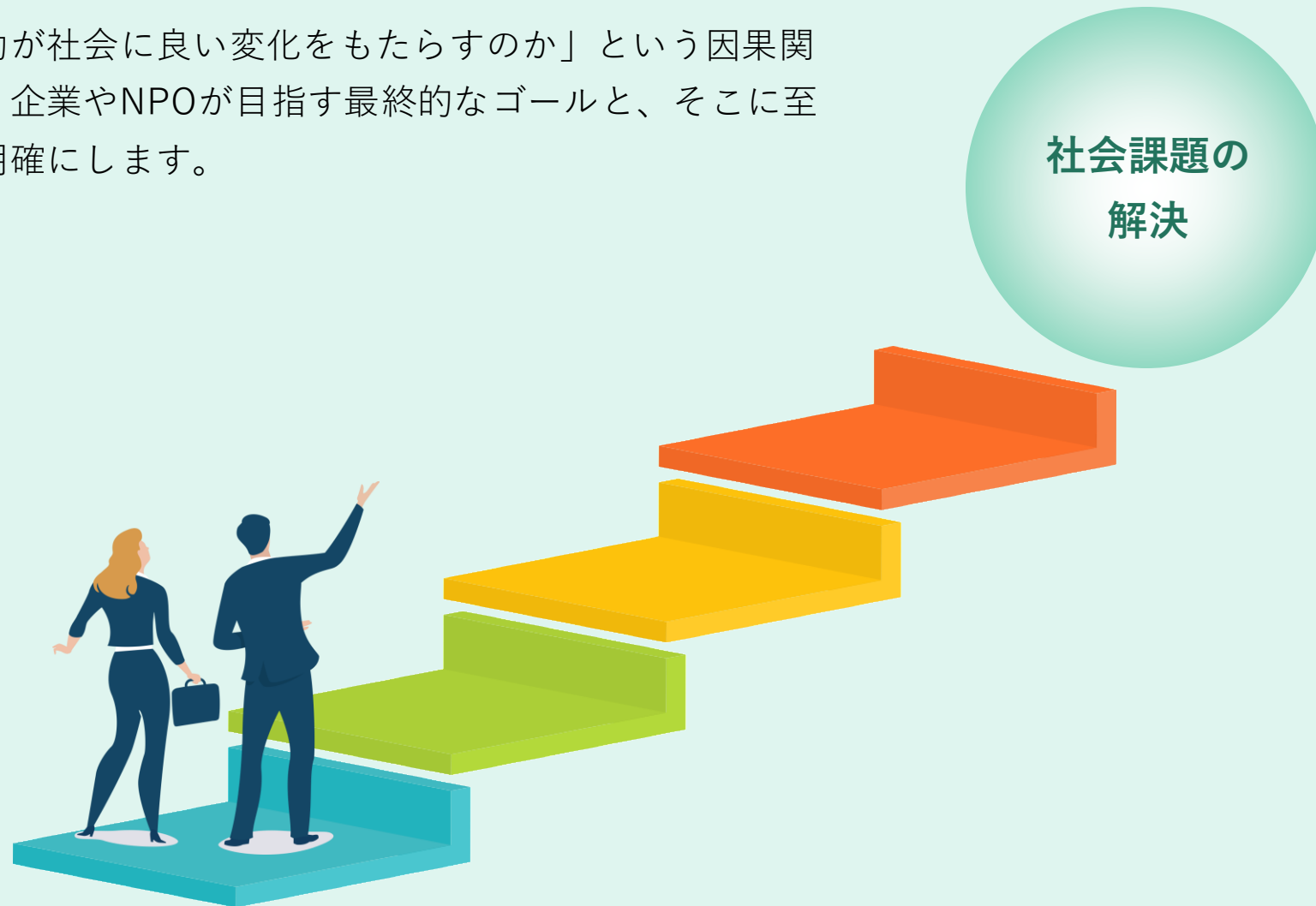
インクデザイン株式会社 2025年10月発行

本資料は、TOCという言葉を知った人が、
おおまかな考え方をざっくり掴んでいただくこと
を目標にしています。



活動の意図と成果の論理的なつながりを明確にする理論です。

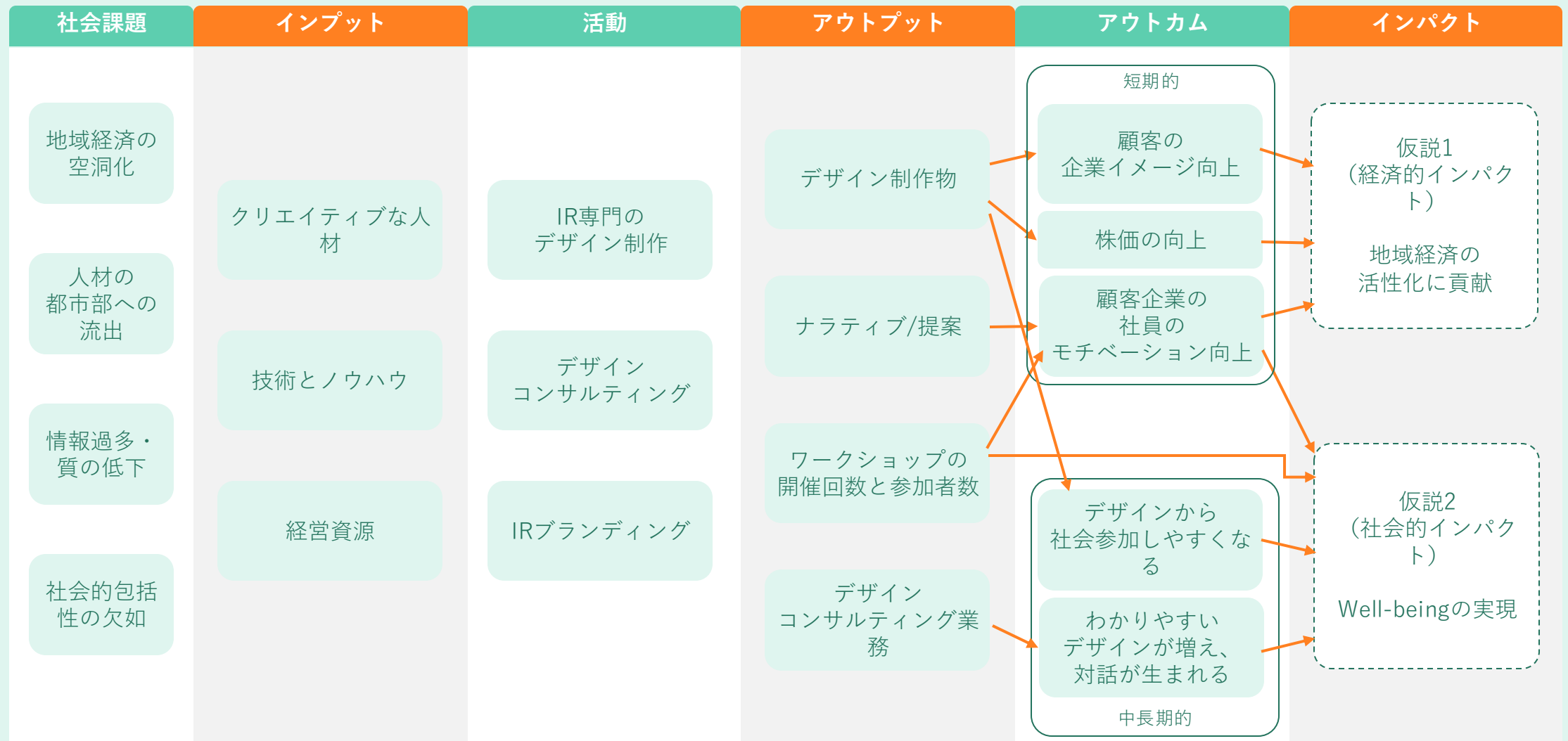
「なぜ、その活動が社会に良い変化をもたらすのか」という因果関係を明らかにし、企業やNPOが目指す最終的なゴールと、そこに至るまでの道筋を明確にします。



TOCはロジックモデルで構築されています。

ロジックモデルは、TOCという概念を、視覚的かつ論理的なフレームワークに落とし込んだもので、以下の要素を「もし～ならば、～だろう」という論理でつなぎます。





※ 研究を目的とした仮想の図であり、実在の企業・団体とは関係ありません。

TOCとロジックツリーの違い

TOCは活動と成果の因果関係を説明する物語であり、ロジックツリーは複雑な問題の分解に特化したツールです。

	TOC	ロジックツリー
目的	活動と成果の因果関係を説明すること	複雑な問題を分解し、 原因や解決策を見つけること
構造	時系列の連鎖	階層的なツリー形式
使い道	プロジェクトの計画・評価	課題解決や意思決定

特定の分野では、すでに事実上の標準となっています。

特に、資金の流れ（助成金や投資）が関わる場面では、TOCは事実上の「必須項目」と見なされています。

インパクトレポート

- 最も代表的な例です
- NPO、ソーシャルビジネス、大企業のサステナビリティ部門が発行し、活動が社会に与えたインパクトを報告する際に、TOCを用いて因果関係を明確に示します

サステナビリティレポート / CSRレポート

- ESGへの取り組みを報告する際、特定のプロジェクトや事業が、社会や環境にどのように貢献しているかをTOCで説明することがあります

年次報告書 / アニュアルレポート

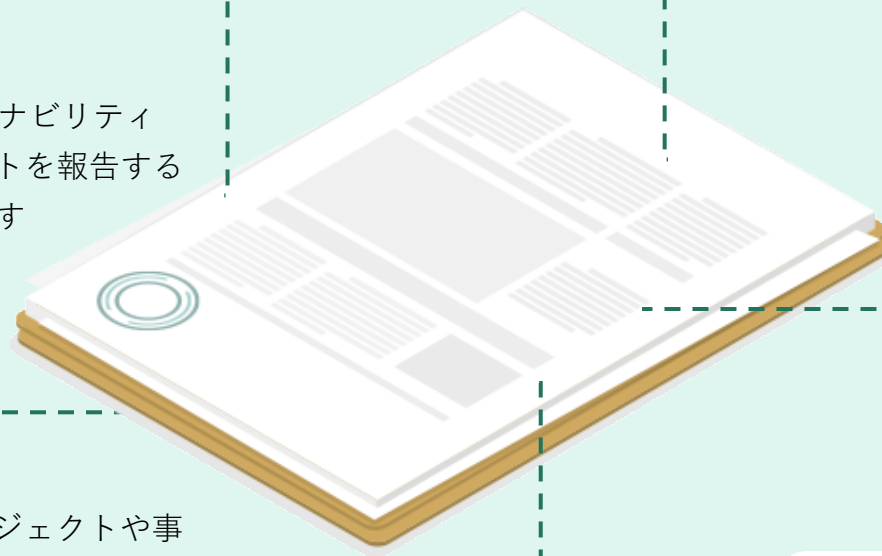
- NPOや財団法人が発行する場合、1年間の活動成果が、TOCで示された最終目標にどう結びついたかを報告します

事業計画 / 企画書

- 特に、資金提供者へのプレゼンテーションには不可欠なツールです

ウェブサイト

- 企業のサステナビリティページや、NPOの事業紹介ページで、ToCの図や解説を掲載することが増えています



参考文献

本資料はこれらのページを基に制作しました。より詳しく学びたい方は一次情報をご参照ください。
また、何かお気づきの点がございましたらご進言いただけますと幸いです。

環境省 「インパクトファイナンスの基本的考え方」

<https://greenfinanceportal.env.go.jp/pdf/114284.pdf>

厚生労働省 「ロジックモデルの基礎」

<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/001106697.pdf>

Boston Consulting Group 「The Theory of Change: How Non-profits Can Scale Up Social Impact」

<https://web-assets.bcg.com/ab/64/7094dc3847498c3a07d069cd310c/the-theory-of-change-how-non-profits-can-scale-up.pdf>